

製造ライン自動化による徹底した効率化と 計画的な人材育成が自社ブランドを支える

同社は建築資材に使われているコンクリートとの接合部品である「あと施工アンカー」、各種鋼球及び薄膜加工製品等の製造・販売を営み、自社ブランドの『ハイアンカー（あと施工アンカー）』を主力商品として、日本全国へ販売している建築金物の製造メーカーである。

お客様に安心して利用いただける高品質な商品と国内及びグローバル市場でも対応可能で独創的な商品を企画・提案できる企業を目指して事業展開を行っている。

●所在地 鳥取県鳥取市国府町117-1

●電話/FAX 0857-23-2731/0857-22-9692

●URL <http://www.sunrise-ic.jp/>

●代表者 代表取締役 吉川 修生

●設立 1965年

●資本金 5,000万円

●従業員数 49人



自社ブランド『ハイアンカー（あと施工アンカー）』を開発

同社は施工現場の声を積極的に取り入れ、技術開発や付加価値の高い商品開発に取り組んでいる。既存品が抱えていた施工後取付物固定までに数日かかること、取付穴との芯ずれ及び取付物配置の設計変更などに対応困難という問題を解決する『ハイアンカー（あと施工アンカー）』を開発。以後も冷間鍛造中空孔明加工、パイプ端部閉塞加工や高耐食性の表面処理など同社独自の技術開発を続けた。主に標識の壁面設置・配管・空調機器の取り付けや生産ラインの固定など幅広く活用（年間1,800万本）されている。

ハイアンカー



自社開発した『ハイアンカー』

生産体制見直しと絶え間ない改善の仕組み化で生産性を向上

手動で行っていたブランク供給作業や施工確認ラインのマーカをプレス自動供給装置の導入によって自動化し、新商品であるトンネル防災機器や道路標識等の落下防止アンカーの増産体制を構築した。1日の生産数17%増加、1本あたりの作業時間半減や作業人員2名削減による配置転換を行い、生産性向上を実現した。また、月1回の改善提案会議では、管理者が従業員の意見を基に作業工程をはじめとしたさまざまな改善策を協議して作業効率アップやコストダウンを図っている。



導入したプレス自動供給装置

従業員の作業環境改善と技術向上へ向けての意識啓発・育成

生産ラインの合理化と手作業工程の自動化を行い、手作業のため設備に張り付いていた作業員の削減による配置転換、作業員の多台持ちを可能とすることによって、生産性の向上を図っている。また、従業員の要望に基づき、会社の方針に合った外部講習会・研修会（資格研修や異業種工場見学等）の情報を収集し、当該情報を従業員へ提示することにより、意識啓発を促進している。あわせて、人材育成計画を策定・実行し、従業員の知識・技術向上に注力。技術革新に対応できる社内体制を着実に整えている。



5Sと省人化が徹底された工場内